

随意契約理由書

17-0166

今回委託を行うおうとする業務は、下記1の工事の積算である。

この業務について下記2により委託しようとするものであるが、当該契約に当たっては、下記3以下に記載の理由のとおり、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に定める「その性質又は目的が競争入札に適しないもの」に該当するとともに、県財務規則施行通達第269条関係1-(3)に定める「契約の内容又は性質上、二人以上の者から見積書を徴することが困難又は不相当であるとき」に該当することから、単独見積りによる随意契約によることとしたい。

1 工事概要

- (1) 工事番号 第17-41310-0166号
- (2) 工事名 積算業務委託(道整・再復)
- (3) 路・河川等名 国道349号
- (4) 工事箇所名 伊達郡川俣町大綱木地内(大綱木2工区)

2 委託を行うおうとする理由

「うつくしま行財政改革大綱」に基づき、定員削減などの行財政改革を進めている中であって、土木部の執行体制上、積算業務の一部を外部委託することが必要である。

3 随意契約の理由

(1) 積算業務の性格

ア 積算を行うにあたっては、県が定める「標準積算基準」に依ることを基本としているが、必要に応じては国や公的機関が定める「積算基準」を参考とすることや、見積を徴収し新たに基準を作成しなければならないことがあるなど、当該地点における積算基準に関する知識と情報を熟知していることが求められる。

イ 積算業務は、経験や現場状況に基づく工法の選定なども含めた総合技術であり、特に、特殊な工事の積算については高度な技術力、ノウハウの蓄積が必要である。

ウ 発注者業務を代替・補完する業務であり、中立性、正確性が求められる。

(2) 災害発生時等の対応

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から全県を挙げて復旧・復興に取り組んでおり、県北建設事務所の実体制の中で、速やかな業務執行のために、当該積算業務を委託する必要がある。 ✓

4 単独見積りの理由及びその相手方

一般財団法人ふくしま市町村支援機構は、長年にわたり、県の業務を補完・代替する公的機関として積算業務に携わっており、当該業務を処理する知識や経験、技術を備えること認める県内唯一の機関である。